

さいたま市議会議員

阪本 かつみ 市議会レポート

【2013. 11月号】

編集・発行：民主党さいたま市議団 阪本 かつみ

10月22日、さいたま市議会 9月定例会 閉会

さいたま市議会 9月定例会は最終日の 10月22日、新たに副市長2名を選任する人事議案を含む市長提出議案33件と、議員提出された意見書6議案などすべての議案を可決・同意し、閉会しました。小林副市長退任後、新たに副市長に選任されたのは昭和52年旧浦和市役所入庁の遠藤 総務局長（60）と、総務省出身の本間審議官（42）の2名で、木下副市長とあわせて副市長3名体制で清水市政を支えることになる。今後の市政運営に期待しております。



さいたま市議会議員

阪本かつみ

議会運営委員会 副委員長

市民生活常任委員会 委員

決算・行政評価特別委員会 委員

政治倫理特別委員会 委員

適正な発注制度及び人員配置に関する調査特別委員会 委員

阪本かつみ「市政報告会」のご案内

日時 平成25年11月16日（土）午後4時～6時

会場 プラザウエスト多目的ルーム

会費 2,000円（懇親会での飲食代）

皆様のご参加心よりお待ちしております。

※申し込み・お問い合わせは阪本事務所まで

来年度予算と施策の要望書を市長に提出

9月定例会最終日前の10月21日、私たち会派は、平成26年度予算編成にあたり、47項目にも及ぶ施策要望と提案事項を取りまとめ、市長に提出しました。

財政状況が厳しい状況でも、しっかりと前に進めなければならぬ事業は何かを見極め、要望させていただきました。



阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみオフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

さいたま市平成24年度決算状況について

〔一般会計〕

歳入決算額 4379億7千5百万円（前年比0.8%減）

歳出決算額 4260億4千8百万円（前年比0.7%減）

平成24年度は、「防災・環境・エネルギー対策」、「高齢者支援」、「子育て支援」の3つの分野について積極的に事業を展開するとともに、創造的改革を実践しました。



○決算の特徴

- ・ さいたま市誕生以来、歳入歳出とも初めて前年度決算額を下回る
- ・ 翌年度へ繰り越すべき財源は、前年度比13億65百万円（22.6%）の増
- ・ 実質収支は、さいたま市誕生以降、連続して黒字を達成
- ・ 単年度収支は、20億23百万円の赤字

○歳入の主な特徴

- ・ 市税収入は、固定資産税の減、都市計画税の減、個人市民税の増、法人市民税の増により12億77百万円（0.4%）の微増となった。
- ・ 市債は、臨時財政対策債の増等により14億93百万円（3.2%）の増となった。

○歳出の主な特徴

- ・ 民生費は、自立支援給付等事業の増、生活保護受給者の増加による生活保護事業の増等により18億97百万円（1.2%）の増となった。
- ・ 衛生費は、新クリーンセンター整備事業の増等により21億40百万円（6.0%）の増となった。
- ・ 土木費は、武蔵浦和駅第1街区市街地再開発事業の増、大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業の増等により19億11百万円（2.5%）増となった。

〔特別会計〕

歳入決算額 2119億2千3百万円（前年比5.2%増）

歳出決算額 2090億7千8百万円（前年比7.6%増）

○主な特徴

- ・ 国民健康保険事業特別会計は、保険給付費の増加により10.4%増となった。
- ・ 後期高齢者医療事業特別会計では、広域連合への給付金の増加により8.6%の増となった。
- ・ 介護保健事業特別会計では、保険給付費の増加により9.3%の増となった。